既知の制限
Cloud Volumes ONTAP

NetApp
February 10, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-volumes-ontap-9140-relnotes/reference-limitations.html on February 10, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

既知の制限 . . . 1
すべてのクラウドプロバイダで制約があります . . . 1
最大同時レプリケーション処理数 . . . 1
クラウドプロバイダの Snapshot をバックアップとリカバリの計画に使用しないでください . . . 1
Cloud Volumes ONTAP は、予約済みおよびオンデマンドの VM インスタンスをサポートします . . . 1
自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用しないでください . . . 1
ソフトウェアの更新はBlueXPが完了している必要があります . . . 1
から Cloud Volumes ONTAP 環境を変更することはできません クラウドプロバイダのコンソール . . . 2
ディスクとアグリゲートはBlueXPで管理する必要があります . . . 2
SnapManager のライセンスに関する制限 . . . 2
サポートされない ONTAP 機能です . . . 2
AWS の既知の制限事項は以下のとおりです . . . 3
AWS Outpost の制限事項 . . . 3
Flash Cache の制限事項 . . . 3
Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます . . . 3
Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック . . . 3
Azure の既知の制限事項 . . . 4
Azure VM拡張機能の使用に関する制限事項 . . . 4
Flash Cache の制限事項 . . . 4
HA の制限事項 . . . 4
Google Cloud の既知の制限事項 . . . 4
パケットミラーリングの制限 . . . 4
Google Private Service Connect の制限 . . . 4

既知の制限

すべてのクラウドプロバイダで制約があります

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

すべてのクラウドプロバイダの Cloud Volumes ONTAP に、 AWS 、 Azure 、 Google Cloud の制限が適用されます。

最大同時レプリケーション処理数

Cloud Volumes ONTAP で同時に実行できる SnapMirror 転送または SnapVault 転送の最大数は、インスタンスのタイプやマシンのタイプに関係なく、ノードあたり 100 です。

クラウドプロバイダの **Snapshot** をバックアップとリカバリの計画に使用しないでください

クラウドプロバイダのスナップショットは、 Cloud Volumes ONTAP データのバックアップとリカバリの計画には使用しないでください。Cloud Volumes ONTAP でホストされているデータのバックアップとリストアには、必ず ONTAP の Snapshot コピーや他社製のバックアップソリューションを使用してください。

"BlueXPのバックアップとリカバリを使用してONTAP データをバックアップおよびリストアする方法をご紹介します"。

> データの整合性は、 WAFL ファイルシステムの ONTAP 整合ポイントによって決まります。WAFL ファイルシステムを休止して crash-consistent バックアップを実行できるのは、ONTAP のみです。

Cloud Volumes ONTAP は、予約済みおよびオンデマンドの **VM** インスタンスをサポートします

Cloud Volumes ONTAP は、クラウドプロバイダから予約済みまたはオンデマンドの VM インスタンスのいずれかで実行できます。それ以外のタイプの VM インスタンスはサポートされません。

自動アプリケーションリソース管理ソリューションは使用しないでください

アプリケーションリソースの自動管理ソリューションでは、 Cloud Volumes ONTAP システムを管理しないでください。サポートされていない構成に変更される可能性があります。たとえば、このソリューションでは、Cloud Volumes ONTAP をサポート対象外の VM インスタンスタイプに変更する場合があります。

ソフトウェアの更新は**BlueXP**が完了している必要があります

Cloud Volumes ONTAP のアップグレードは、BlueXPから完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性

から **Cloud Volumes ONTAP** 環境を変更することはできません クラウドプロバイダのコンソール

クラウドプロバイダのコンソールから Cloud Volumes ONTAP 構成を変更した場合、サポートされない構成になります。BlueXPが作成および管理するCloud Volumes ONTAP リソースに変更を加えると、システムの安定性とシステム管理能力に影響を与える可能性があります。

ディスクとアグリゲートは**BlueXP**で管理する必要があります

すべてのディスクとアグリゲートは、BlueXPから直接作成および削除する必要があります。これらのアクションは、別の管理ツールから実行しないでください。これにより、システムの安定性が低下し、将来ディスクを追加できなくなる可能性があります。また、クラウドプロバイダの冗長料金が発生する可能性もあります。

SnapManager のライセンスに関する制限

SnapManager のサーバ単位のライセンスは、 Cloud Volumes ONTAP でサポートされます。ストレージシステム（ SnapManager スイート）単位のライセンスはサポートされません。

サポートされない **ONTAP** 機能です

Cloud Volumes ONTAP では、次の機能はサポートされていません。

- アグリゲートレベルのインライン重複排除
- アグリゲートレベルのバックグラウンド重複排除
- ディスクメンテナンスセンター
- ディスク完全消去
- FabricPool ミラーリング
- Fibre Channel （ FC ；ファイバチャネル）
- Flash Pool の機能です
- Infinite Volume
- インターフェイスグループ
- ノード内の LIF のフェイルオーバー
- MetroCluster
- 管理者による検証が複数必要です

  Cloud Volumes ONTAP でマルチ管理者検証を有効にすると、構成がサポートされなくなります。

- RAID 4 、 RAID-DP 、 RAID-TEC （ RAID 0 のサポート）
- サービスプロセッサ
- SnapLock のコンプライアンスモードとエンタープライズモード（クラウドの WORM のみサポート）
- SnapMirror Synchronous
- VLAN

AWS の既知の制限事項は以下のとおりです

以下に記載する制限は、 Amazon Web Services の Cloud Volumes ONTAP に固有のものです。また、必ず確認してください "すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"。

AWS Outpost の制限事項

AWS Outpost を使用している場合は、 Working Environment ウィザードで Outpost VPC を選択して、その Outpost に Cloud Volumes ONTAP を導入できます。エクスペリエンスは、 AWS に存在する他の VPC と同じです。最初に、 AWS Outpost にコネクタを導入する必要があります。

指摘すべき制限事項はいくつかあります。

- でサポートされるのはシングルノードの Cloud Volumes ONTAP システムのみです 今回は
- Cloud Volumes で使用できる EC2 インスタンス ONTAP は、 Outpost で利用できる機能に限定されています
- 現時点では、汎用 SSD （ gp2 ）のみがサポートされます

Flash Cache の制限事項

C5D および R5D インスタンスタイプには、 Cloud Volumes ONTAP が _Flash Cache _ として使用するローカル NVMe ストレージが含まれます。次の制限事項に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP 9.12.0までのFlash Cacheのパフォーマンス向上を利用するには、すべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1を導入またはアップグレードする場合、圧縮を無効にする必要はありません。

  BlueXPからボリュームを作成するときにStorage Efficiencyを無効にすることも、ボリュームを作成してから実行することもできます "CLI を使用してデータ圧縮を無効にします"。

- 再起動後のキャッシュの再ウォームアップは、 Cloud Volumes ONTAP ではサポートされていません。

Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます

Cloud Volumes ONTAP はアイドル時に CPU を解放しません "Amazon CloudWatch" では、使用率が 100% になっていることが検出されたため、 EC2 インスタンスについて CPU 使用率の上昇を警告できます。このアラームは無視してかまいません。ONTAP statistics コマンドを実行すると、 CPU の実際の使用状況が表示されます。

Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされませんギブバック

ノードがリブートしたら、ストレージを戻す前に、パートナーがデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードが停止している間にクライアントが書き込んだデータの量、およびギブバックの実行中のデータの書き込み速度によって異なります。

"Cloud Volumes ONTAP HA でのストレージの仕組みをご確認ください AWS で実行されているペア"。

Azure の既知の制限事項

以下に示す既知の制限事項は、 Microsoft Azure の Cloud Volumes ONTAP に固有のものです。また、必ず確認してください "すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"。

Azure VM拡張機能の使用に関する制限事項

Cloud Volumes ONTAPでは、Azure Virtual Machine（VM）拡張機能と導入環境内のVMアプリケーションはサポートされません。AzureでVM拡張機能を使用してCloud Volumes ONTAPを使用すると、運用に遅延が発生するため、NetAppではそれらを回避することを推奨

Flash Cache の制限事項

一部のVMタイプにはローカルのNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAP では_Flash Cache _として使用されます。Flash Cache に関する次の制限事項に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP 9.12.0までのFlash Cacheのパフォーマンス向上を利用するには、すべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1を導入またはアップグレードする場合、圧縮を無効にする必要はありません。

  BlueXPからボリュームを作成するときにStorage Efficiencyを無効にすることも、ボリュームを作成してから実行することもできます "CLI を使用してデータ圧縮を無効にします"。

- 再起動後のキャッシュの再ウォームアップは、 Cloud Volumes ONTAP ではサポートされていません。

HA の制限事項

一部のリージョンでは HA ペアがサポートされません。

"サポートされている Azure リージョンのリストを表示します"です。

Google Cloud の既知の制限事項

次の既知の制限事項は、 Google Cloud Platform の Cloud Volumes ONTAP に固有です。また、必ず確認してください "すべてのクラウドプロバイダでの Cloud Volumes ONTAP の制限"。

パケットミラーリングの制限

"パケットミラーリング" Cloud Volumes ONTAP を導入する Google Cloud VPC で無効にする必要があります。

パケットミラーリングがイネーブルの場合、 Cloud Volumes ONTAP は正常に動作しません。

Google Private Service Connect の制限

を活用する場合は "Google Private Service Connect の略" Cloud Volumes ONTAP を導入する VPC 内で、必要なにトラフィックを転送する DNS レコードを実装する必要があります "BlueXP APIエンドポイント"。

Cloud Volumes ONTAP から Google Cloud Storage バケットへのデータの階層化は、現在プライベートサービス接続ではサポートされていません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。